

第 99 春季年会「優秀講演賞（産業）」表彰

産学交流委員会

日本化学会産学交流委員会では、平成 8 年度開催の第 72 春季年会から若い世代の講演発表者の研究活動の奨励を目的として「講演奨励賞」を、平成 20 年度からは「優秀講演賞（産業）」と改称して講演発表者を顕彰してきました。平成 24 年度からは、対象をアドバンスト・テクノロジー・プログラム (ATP) で実施される ATP ポスターに限定して、審査・選考、表彰を行ってまいりました。

この「優秀講演賞（産業）」は、「産業に対する寄与が期待される基礎的または応用的な概念、アイデア、実験手法、実験結果などについての発表であり、発表者の研究に対する主体性や貢献度が優れ、且つ今後の研究活動の一層の発展の可能性を有すると期待されるもの」に対して会長名で表彰するものです。

3 月 16 日(土)～19 日(火)に甲南大学岡本キャンパスで開催された第 99 春季年会では、審査希望のあった若手研究者（40 歳以下の正会員および学生会員）の講演を対象に産業界の審査員が審査しました。ATP 企画小委員会および産学交流委員会による厳正な選考の結果、申請のあった 112 件の中から今年度の受賞者として下記の 7 名が選出されました。高い評価を得て表彰に値すると選考された受賞者には、その栄誉をたたえ、さらに一層の研鑽を積まれますことを期待して、所属機関長を経由して表彰状をお届けしました。

優秀講演賞（産業） 受賞者一覧

[エネルギー]

- ・ 攪上 健二（株式会社 ADEKA 環境・エネルギー材料研究所・主任）
1PC-003 「リチウムイオン二次電池用の硫黄変性ポリアクリロニトリル負極の開発」

[環境・資源・GSC]

- ・ 岩崎 祥大（宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所・PD）
1PC-037 「蠕動運動型人工筋肉混合器を用いた安全な固体ロケット推進薬連続ミキシングプロセスの研究及びロケット燃焼試験による技術実証」
- ・ 小藤 勇介（株式会社東芝研究開発センター）
1PC-023 「Au ナノ粒子触媒による CO₂還元セルの電流密度向上」

[通信・エレクトロニクス]

- ・ 林 正太郎（防衛大学校 応用化学科・講師）
1PC-092 「エラスティック結晶による柔軟で高性能な発光ウェーブガイド」

[医療・ヘルスケア・バイオテクノロジー]

- ・ 三澤 和史（慶應義塾大学大学院 理工学研究科・M1）
1PC-119 「目視によって半定量分析可能な文字表示型競合ラテラルフローイムノアッセイ」
- ・ 両角 明彦（東京大学大学院 薬学系研究科・D3）
1PC-115 「細胞内グルタチオンの求核付加・解離平衡に基づく超解像蛍光イメージングプローブの開発」

[本年度のハイライト「最先端触媒」]

- ・ 日高 海（東京大学大学院 工学系研究科・M2）
1PC-147 「過渡応答解析法により得られる ZSM-5 上での MTO 反応におけるプロピレン形成に関する新たな知見」